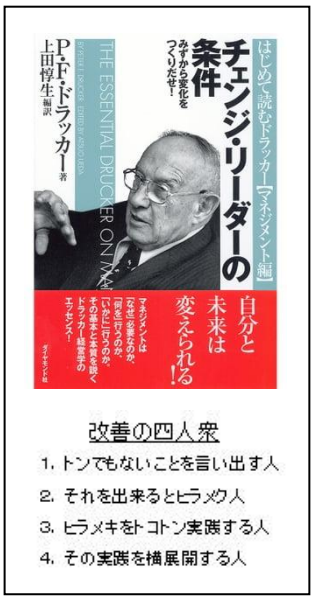
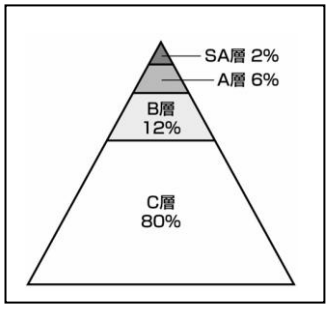
**勁草塾＃2・・チェンジ・リーダー**




右上は2000年9月に発刊された
P・F・ドラッカー著の「**チェンジ・リーダーの条件**」
です。

サブタイトルに
「**みずから変化をつくりだせ！**」
とあります。

しかし、意外にも「変化できない」という方が多いのです。




左掲は人口ピラミッドで
4つの層に分けています。

これを「改善の四人衆」に当てはめると
SA層：**1．トンでもないことを言い出す人**
A　層：**2．それを出来るとヒラメク人**
と考えます。

まず、現状に縛られずに自由な発想できる事がポイントです。

「**変われないなら変われるようにしよう**」
は弊社のスローガンの一つです。

確かに、今までの延長線上では「**変わる**」ということは難しいですね。

「**トンでもないこと**」はチャレンジする勇気、
すなわち、一歩踏み出すか否かです。

「**出来るとヒラメク**」ことに着手しましょう。

まさに「疾風勁草」、
現状の「ぬるま湯」状況を「みずから打破する」第一歩を踏み出す
事です。

そして、「発想」を「具体化」して第一歩を踏み出すことがポイント。

故船井幸雄先生は「3回安定10回固定の法則」とおっしゃっていますが、
「**着眼大局、着手小局**」
で、まず出来ることから始めましょう。

プロタイプと言いますが、試作段階では機能を確認する事から始めます。

そして、種々の改善を加えて性能を向上させます。

「性能向上」は
「**３．そのヒラメキをトコトン実践する人**」
がポイントになります。

何事も一挙に良くなるとは少ないので、
まず、成功し易い簡単なことから取り組んで、
徐々にレベルをあげ、
3回目では凡その方向性が決まり、
１０回も続ければ固まってくる
というステップ的に取り組むことです。

そして、固まってきた方法を組織内に広める
「**４．その実践を横展開する人**」
というコミュニケーションに優れた人の存在がポイントになります。

このように、
「**自ら変化をつくり出せ！**」
は「着眼大局、着手小局」でコツコツと進めることです。

一般的には、「変化しよう」と思うけれど、なかなか踏み出せないという方が多く、
「**福の神様には後ろ髪がない**」
と言うようにグズグズしている内にチャンスをなくすことになりやすいのです。

故船井先生は「直感力」と言われましたが、
「**ヒラメキ**」を「**３回安定１０回固定の法則**」に従って、
まず「着手」することが大切です。

一挙に、大きな事を追うのではなく、
まず、出来る事から始め「**考動**」と言いますが
改善しながら進めましょう。

**【勁草塾のバックログはホームページにあります！】**